

地震火山研究連携センター (Collaboration Center for Earthquake and Volcano Research)

地震火山噴火予知研究推進センター

背景・課題

- ① R6開始の国の科学技術・学術審議会の建議に基づく「地震火山観測研究計画（第3次）」の推進を担う共同利用・共同研究拠点としての責務
- ② 第2次の研究成果と課題を受けた、新たな研究展開、成果の社会実装の促進（成果レビュー、外部評価を受けて）
- ③ 理学的成果（ハザード情報）をリスク情報・災害情報へと高価値化、社会の防災リテラシー向上に貢献
- ④ 国の火山調査研究推進本部の設立（R6）

（改組）地震火山研究連携センター

改組の目的

地震火山観測研究計画に対する社会ニーズを踏まえて、成果の社会貢献を一層強化した研究展開を図る

- 観測研究計画の研究成果を防災機関へ技術移転し、社会実装を組織的に進める
- 研究成果データを社会の災害軽減・防災リテラシー向上に活かす
- 全世界の災害軽減に向けた国際共同観測研究を進める
- 火山調査研究推進本部への学術貢献

→ 地震火山研究連携センターの創立
共同利用・共同研究拠点の研究マネジメント力強化

教育研究内容

国の建議研究「災害の軽減に貢献するための地震火山観測計画（第3次）」（R6～10）の推進（地震火山研究連携センターが中心的役割を果たす）

- ① 全国共同観測研究の企画・実施
- ② 先端的観測研究基盤の整備
- ③ 災害軽減に向けた成果の発出・社会貢献

（1）地震火山噴火研究成果の社会展開の促進

- 防災現業機関への技術移転、地震・火山防災施策への貢献
- 科学的成果を社会貢献に繋げる研究計画をコーディネート



官学
人事交流
国の防災現業機関等

（2）共・共拠点の研究マネジメント力の強化

- 文理融合研究により、地震発生・火山噴火予測の科学的成果を災害情報に高める
- 全世界課題としての地震火山防災、国際共同観測研究力、成果発信力の強化



異分野
融合
東京大学の他部局・
センターなど
全国の大学、海外の大学

期待される成果

- 観測研究計画の成果の社会還元に向けて、研究企画、推進、社会展開まで通貫する研究マネジメント体制を実現する
- 東京大学の防災関連研究組織、及び国内外の大学・研究機関との文理融合研究を加速させ、成果の社会リスク・防災情報への高付加価値化と、新たな学知の創出が期待される
- 防災現業機関との人事交流により、地震火山観測計画の成果の国の防災現業への活用、そして研究へのフィードバックが図られる

UTokyo Compassとの関連

1-1 地球規模の課題解決への取り組み

地震・火山災害の軽減に向けた分野間を超えた研究連携を強化

1-2 多様な学術の振興

自然科学と人文・社会科学との文理融合研究を通じた新たな学術を振興

1-3 卓越した学知の構築

固体地球科学コミュニティ全体の研究を振興